

●福祉施設の整備

地域福祉の向上のため、各種の基盤づくりを進めました。

- 県営福祉パークの開設、介護実習・普及センターの運営(H10～)



全国の福祉のまちづくり推進のモデル施設となりました。



地域福祉の拠点として年間約15万人が利用

- 社会福祉総合センターの開設(H6)
- 福祉人材センターの設置(H5) のべ約28,000人が人材バンクに登録
- ホスピス(国保中央病院)の開設(H17)を支援
- 地域包括支援センターの設置支援(H18～) 59施設設置

- 介護保険施設等の計画的な整備

	H3年度	H8年度	H13年度	H18年度
指定介護老人福祉施設	2,968床	2,968床	4,205床	5,026床
ケアハウス	—	436床	903床	1,093床
介護老人保健施設	424床	1,072床	2,252床	3,274床

※H18年度はH19.1末時点

～高齢者や障害者が安心して地域で暮らす～

高齢者、障害者をはじめ、みんなが安心して地域で暮らせるように、福祉施設の整備、介護保険の充実、障害者対策、障害児教育、ユニバーサルデザイン等の施策に、重点的に取り組みました。

●介護保険の充実

- 介護保険制度の運用と充実(H12～)
介護保険審査会、介護相談員、介護保険事業支援計画など



- 介護サービス情報の充実(H13～)
県HPIによる介護事業者及び介護サービスの情報提供

- 在宅福祉サービスの充実

	H3年度	H8年度	H13年度	H18年度
ホームヘルパー養成数(各年度)	128人	1,490人	2,691人	3,956人(H17)
デイサービスセンター	21箇所	60箇所	108箇所	238箇所
ショートステイ	303床	645床	753床	952床
在宅介護支援センター	6箇所	41箇所	103箇所	102箇所

※H18年度は見込

ーロメモ

● 福祉予算の着実な増加
パブル崩壊後、厳しい財政状況が続く中、奈良県の福祉予算は、**着実に増加**してきました。

H7 当初予算 351億円

H13 当初予算 501億円

H19 当初予算 541億円

●障害者対策の充実

- 障害者長期計画の策定と推進(H6、H16～)
- 障害者支援サービスの充実

	H3年度	H8年度	H13年度	H17年度
ショートステイ	16箇所	21箇所	34箇所	69箇所
グループホーム	1箇所	7箇所	34箇所	63箇所

- 障害者110番開設(H11)
- 障害者就労支援の充実
福祉作業所や小規模授産施設への支援を実施



菅原園



大淀園



- 身体障害者療養施設大淀園開設(H10)、菅原園改築(H17)
- 自閉症等に対応した発達障害支援センターの開設(H17)
- 点字図書館ネットワーク(H13)



安心の政策

●障害児教育の推進

- 「障害児教育諸学校適正化実施年次計画」の策定と推進(H16～)
 - 西の京養護学校と七条養護学校を奈良東養護学校に再編、高等養護部設置(H18)
 - 西和養護学校開校(H19) 9校→10校(H20予定)
- 心身障害児・重症心身障害児(者)の通園を支援



西和養護学校

●ユニバーサルデザインの推進

- 奈良県住みよい福祉のまちづくり条例の制定と推進(H8～)
福祉のまちづくり基金の創設と活用
 - 駅のエレベータ設置・バス車両のバリアフリー化を支援
 - 「住みよい福祉のまちづくり施設賞」表彰事業
- 「やまとユニバーサルデザイン推進指針」の策定(H18)

